

# 夢

# 追

# い

# 人

## 大川信用金庫

### 理事長 緒方孝治さん (64)



# で育った人間です。 は大川が発展していくことです。

今回は昨年の秋に黄綬褒章を受けられた、大川信用金庫理事長の緒方孝治さんに登場してもらいます。緒方さんは大川商工会議所の常議員であり、地元をこよなく愛される方です。興味深いことですが、工芸家としての顔も持つておられます。その辺のところをお伺いしてみました。

このたびの黄綬褒章受章、おめでとうございます。さて、早速おたずねしますが、ご自身ではどんな点が評価されたとお考えですか。

信用金庫業界での黄綬褒章受章資格は六十才から七十才までとなつているようで、今回は十四名が受章しました。六十四才と若

くしていただいたのは、大川信用金庫の経営内容が良いこと、それに地域に密着して活動してきたことが評価されたのだと思います。働きがいや生き甲斐をどんなときにお感じになりますか。やはり健康で毎日仕事ができることですね。そのことを心から感謝しています。ストレス等問題がないわけではありませんが、何事にもくよくよせず、プラス思考で乗り切るようにしています。

さて、理事長は東京に出張される時、しばしば家具店を訪問されると聞いています。それはどんな思いからですか。少しでも大川家具の発展に役立てばという思いからです。四、五年前から上京するたびに、東京、埼玉、千葉、群馬などの家具屋さんを回り、大川家具の販売促進、製品に対する色々な情報を収集して、機会あるごとに地元業界の皆さんにフィードバックするようになってきました。

中には厳しい意見などがあるのではないのでしょうか。その通りです。しかし外部からのそうした意見や観察は核心を重だと思えますよ。四年ほど前、千葉県市川市の土屋家具センターを訪問した際、社長から指摘されました。「大川のメーカーは勉強が足りない。東南アジアを回り製造されている家具と価格を見れば、今後大川がどうあるべきかがわかるはずだ。このままだと五年後

には東南アジアに追いつかれる」と。確かに今こういう傾向が見られるようになっていきます。ですから、大切なことは、こうした外部からの得難い意見を尊重し、必要と思えるモノを積極的に取り入れていく姿勢だと思っています。

なるほど…。大川の家具業界は不振に陥っていますが、事態を改善するのに今何が必要とお考えですか。一言で言えば、現在の住宅事情を考慮した、製品作りにあると思います。



間仕切り家具

大川家具は今まで置き家具に特化して伸びてきました。しかし、住宅構造の変化、大口消費地である都市部マンションの狭隘で置き家具の居場所がなくなつていのが現状です。置き家具は今後も減少傾向で推移すると思われるので、そこで、今わたしが注目しているのが「間仕切り家具」(※)です。

# 大川で生まれ、大川 ですからわたしの夢



華胥の夢博出品作品

これは、昨年十月に開催された大川木工まつりで大川家具工業会から展示されました。画期的な発想に大変驚きました。会場に三回足を運んだくらいです。入場者のアンケートも好評であったと聞きました。

**理事長はこの家具の将来性に期待されているわけですね。**

そういうことです。実際にとってもいい反応が見られています。

昨年十二月の出張の際には、住宅産業と間仕切り家具との接点を見いだすため、知人を介し野村住宅管理株式会社(マンション販売)と横浜の野村ホーム(戸建ての住宅販売)を訪問できました。「間仕切り家具」を紹介したところ、両社の専務、部長とも大変興味を示してくださいました。それに、福岡の西鉄不動産、西鉄住宅事業本部の方々にお話ししたところ、わざわざ大川まで見に来ていただきました。

**なかなかの反響がありますね。しかしさらに必要なことがありますか。**

ええ、早急に間仕切り家具を取り入れたモデルハウスをつくるか、常設展示場を大川産業会館の中につくっていただきたいと願っています。

**さて、この辺で工芸の方に話を向けたと思います。理事長は工芸にも関心があるそうですね。匠の域に達した人たちが出品する、華胥の夢博に六回も出品されているそうですが、どう**

して工芸に取り組まれるようになったのですか。

二十年前ほど前、ある生け花展に行ったときのことです。そこにひときわ目立つ作品があったのです。それは木目がきれいな櫛の花台に載っており、それが生け花を引き立てていることがわかったとき、無性に花台づくりに挑戦したい気持ちに駆られたのです。

それからチェーンソー、鉋、鋸のみ、サンダーなどの道具をそろえ、メーカーの社長さんから手ほどきを受け、木目の生かし方、塗装の技術など、いろいろな方に指導を受けました。花台づくりから始まり、五、六年前からは大型のテーブル、衝立などにも挑戦しています。



華胥の夢博出品作品

**本業の仕事で大変忙しいと思うのですが、どのように時間を見つけておられるのですか。**

実際のところ、休日も何かと要件があります。しかし、暇を見つけては製作に励むようにしています。こうして花台だけでもこれまでに三百台くらいを作ってきました。ある作品は五十万円くらいの値が付いたことがあります。あく

まで作品は趣味の域で、すべて友人知人に差し上げております。**そうですか。工芸は理事長にとってどんな存在ですか。**

この趣味を持ったことで、地方の隠れた芸術家、技術者、愛好家など多くの人と友人になりました。多くの師も得ました。これはわたしの人生の大いにプラスになっています。

それに訪問先で「理事長にいただいた花台はたいせつにしていますよ」といつていただいたり、玄関の下駄箱の上とか、お座敷の床の間の生け花を引き立てているのを見ると、本当に喜びを感じます。

**最後に夢をお聞かせください。**

わたしは大川で生まれ、大川で育った人間です。ですからわたしの夢は大川が発展していくことです。これからも地域社会や業界の発展に微力ながら貢献していきたいと願っています。

**ありがとうございました。**



大川信用金庫本店

※間仕切り家具  
家具の底部に移動用の小器具  
が取り付けてあり、ラクに自由に  
室内を動かせる。住む人の家族構  
成やライフスタイルにあわせて間  
取り、レイアウトを楽しめる。